

2027 年 AI 時代の英語勉強法

情報を減らし、深く学び、自分の言葉で

話すための 7 つの考え方

パンサー戸川

はじめに

「情報が多過ぎる・・・」

今の英語学習者の状況を、一言で表してみました。YouTube だけでなく、音声、ポッドキャスト、インスタ、ショート動画、X、テキスト、メルマガ、英語の参考書、有料講座、そして AI などなど。

以前は、英語を勉強しようと思っても、今ほど簡単に情報へアクセスできる時代ではありませんでした。でも、今では真逆の状況になってしまいました。そう、情報が多過ぎるのです。

僕も最初は、「選べるほど豊かになったんだ」と、ほっと胸を撫でおろしていました。

でも、実際は違いました。

今の英語学習者の悩みは、「あり過ぎて、選べない」ということなのです。

そして、必要以上に英語コンテンツに触れ過ぎて、「浅く広く」の状態になっている方も少なくありません。

今回、『2027 年 AI 時代の英語勉強法 ―情報を減らし、深く学び、自分の言葉で話すための7つの考え方―』を書こうと思った理由も、ここにあります。

「情報があり過ぎて、英語迷子になっている方が多い」

「逆に、色々やり過ぎて悩んでいる人の力になりたい」

そんな気持ちで、この PDF を書きました。特に AI が登場してからは、何でも答えを瞬時に出せるようになりましたよね。今まででも十分コンテンツはたくさんありました。それに加えて AI が登場し、さらに情報を足している人もいます。

だから、一旦このタイミングで、英語学習者には「整理する時間」が必要なのではないか？そう考え、今回この冊子を書くことにしました。

特にこの冊子を読んでもらいたいのは、

- ・ 40 代、50 代、60 代の方
- ・ 今まで何度も英語学習に挫折してきた方
- ・ 英語学習をたくさんやっている割には、身についていないと感じる方
- ・ 教材や勉強法を色々試したけれど、何を優先すべきか分からない方
- ・ 「今のやり方、このままで良いのかな？」と思っている方

です。そして、今回の本で僕が伝えたいことを一言で言うと、「もっと勉強法を増やしましょう」という本ではありません。一度立ち止まって、減らし、整理し、深く学び、自分の言葉で英語を使うための本です。

今回の本は、第 1 章から第 7 章まであります。この本を読み終わった時、「もっと勉強しなきゃ」ではなく、「あ、これをやれば良いんだ」と、少し頭の中がスッキリしてもらえたら嬉しいです。

目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.2
第1章 英語学習で、胃もたれしていませんか？・・・・・・・・	P.5
第2章 「何のために英語を話せるようになりたいのか？」を忘れない	P.9
第3章 英語学習は、“足す”より“捨てる”・・・・・・・・	P.19
第4章 スマホ使用中は、“天使と悪魔”を見極めよ・・・・・・・・	P.22
第5章 たくさん学ぶより、“1つを深く”・・・・・・・・	P.25
第6章 丸暗記で終わるな。フレーズから文法へ広げよう・・・・・・・・	P.28
第7章 AIが答えてくれる時代でも、最後に問われるのは「あなたはと思う？」	P.34
おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.41
著者プロフィール・・・・・・・・・・・・・・・・	P.43
もう少し、自分の英語学習を整理したい方へ・・・・・・・・	P.44

第1章 英語学習で、胃もたれしていませんか？

まず、この章で一番伝えたいことがあります。それは、僕たちは、すでに十分すぎるくらい英語情報を持っている。だから、これからは「増やす」よりも「減らす」ことに目を向けていきましょう、ということです。

もしかすると、この冊子も今、スマホで読まれているかもしれませんね。もちろん PC やタブレットで読まれている方もいらっしゃると思いますが、スマホで読まれている方も多いのではないのでしょうか。

で、僕としては、それがとても嬉しいんです。

なぜなら、このスマホを通して、これまで情報過多の中で溺れそうになっていた方に、

「これから、どうやって英語情報と付き合っていけばいいのか？」

をお伝えすることができるからです。

今回は英語情報に焦点を当ててお話ししていますが、僕たちは英語以外でも、毎日かなり多くの情報を受け取っていますよね。本当は、自分で受け取る情報量をコントロールして、必要なものだけ選ぶことができればいい。

でも、これがなかなか難しい。なぜなら、今はスマホ 1 台あれば、ほぼ制限なく色々な情報にアクセスできてしまうからです。だからこそ、一度自覚する必要があると思うんですね。

「もう十分すぎるくらい、情報を受け取っているんじゃないか？」と。

そして、これからは少しずつ減らすことに目を向けていく。まずは、ここから始めてほしいんです。

あなたにも、こんな経験ありませんか？

英語系のショート動画を見始めたら、リズムよくサクサク見られる。英会話フレーズ、発音、文法、リスニング。

「へえ、これ使えるな」

「知らなかった！」

「これも保存しておこう」

そんな感じで次から次へと見ているうちに、気がつけば30分くらい経っている。僕もあります。しかも英語の勉強をしているわけですから、なんとなく罪悪感も少ないんですよね。

「遊んでいるわけじゃないし、英語の勉強をしているからいいか」となりやすい。

でも、ここで一度質問させてください。

あなたが観たショート動画、その内容を全部覚えていますか？どうでしょう？おそらく、「いや、ほとんど覚えてないな」という方も多いのではないのでしょうか。

そうなんです。本当は、観た英語動画の内容が、自分の英語として残って、実際の英会話で使えるようになっていれば理想ですよね。

でも現実には、次の動画、その次の動画、そのまた次の動画……と進んでいくうちに、前に観た内容がどんどん薄れていくこともあります。

例えば30本観たとして、「昨日観た30本の内容を、今日どれくらい説明できますか？」と聞かれたら、意外と答えられないかもしれません。ということは、スマホから大量に英語情報をインプットしていたとしても、

「たくさん見た＝たくさん身についた」

とは限らないんですね。そこで一度、普段あなたがどれくらい英語情報に触れているのか、書き出してみたいです。

紙とペンでも構いません。スマホのメモ帳でも OK です。

例えば、

- ・スキマ時間に英語系ショート動画 20 分×3 回=60 分
- ・YouTube 動画 15 分×1 本、25 分×1 本=40 分
- ・Instagram などの SNS チェック 40 分

合計 140 分。

こんな感じです。ここで、「え？でも、これだったら英語に 140 分も使っているんだから、良いんじゃないですか？」という声が聞こえてきそうですね。

僕も以前なら、そう思っていました。

でも、まず今回やってほしいのは、良いか悪いかを判断することではありません。自分が毎日、何に、どれくらい時間を使っているのか。それを一度、客観的に見てみることです。

スマホ

YouTube

SNS

英語アプリ

本

オンライン英会話

Podcast

色々あると思います。一度、全部書き出してみてください。そして、「うわ、思っていたより多いな」と感じたら、それがまず大きな一歩です。

僕たちは、新しい英語教材を探したり、新しい動画を保存したり、新しい英語アカウントをフォローしたりする前に、まず、自分がどれだけ持っているのかを知る必要があります。

もう僕たちは、十分持っています。

足りないから英語が伸びないのではなく、もしかすると、**持ちすぎているから、何をすればいいのか分からなくなっている。そんな可能性もあるんです。**

だから、まずは減らす。いきなり完璧に減らさなくてもいいです。

ただ、「これ、本当に今の自分に必要かな？」と一度立ち止まってみる。その習慣を持つだけでも、英語学習の「胃もたれ」は少しずつ減っていくと思います。新しい情報を足す前に、まず減らす。まずはそこから始めてみてください。

第2章「何のために英語を話せるようになりたいのか？」を忘れない

前の章では、英語学習で情報を摂りすぎないこと。何でも足すのではなく、自分に必要なものを選ぶこと。についてお話ししました。

では、どうすれば、

「これは自分に必要」

「これは今の自分には必要ない」

と判断できるのでしょうか。そのために、まず決めてほしいことがあります。

それが、

「私は、何のために英語を話せるようになりたいのか？」です。

ここ、本当に大事です。英語の勉強法を探すより先に、一度立ち止まって考えてほしいくらいです。なぜそこまで大事なのか。

ある方のお話を紹介します。

1年間、英検2級だけを見て走り続けたAさん僕のフォロワーさんの一人、Aさんのお話です。Aさんは英検2級合格を目指して、約1年間、本当に一生懸命勉強されていました。

手帳にも、「英検2級合格！」と書き、毎日まっすぐその目標に向かって進んでいました。単語。リーディング。リスニング。音読。英検合格のために必要なことを、コツコツ積み重ねていったんですね。

そして、いよいよ試験当日。

これまで勉強してきたことを出し切り、試験を終えました。A さんによると、試験後は今まで張りつめていたものが一気に抜けたような感覚だったそうです。それだけ、この 1 年間、英検 2 級にエネルギーを注いできたということだと思います。

そして後日。見事、英検 2 級合格。
X のスペースでも、その喜びを報告してくださいました。

僕も本当に嬉しくて、「おめでとうございます！」とお伝えしたことを覚えています。
ここまでは、とても順調でした。

しかし、その後です。

「次、私は何をすればいいんでしょう？」

英検 2 級に合格した A さんの英語学習は、そこから少しずつ変わっていきました。あれだけ熱心に続けていた音読をしなくなった。英語には触れている。でも以前ほどの勢いはない。

そして A さんから、「先生、次、私は何をすればいいんでしょう？」と相談を受けました。今までの A さんには、非常に分かりやすい目標がありました。

英検 2 級に合格する。

だから、「今日は何をするか」で迷いにくかったんですね。しかし、その目標を達成した瞬間、次にどこへ向かえばいいのか分からなくなった。

もちろん、大きな試験が終われば、一時的にやる気が落ちることはあります。僕自身も英検や TOEIC の受験後に、「出し切った～」という状態になり、しばらくペースが落ちることはあります。

だから、少し休むこと自体はまったく問題ありません。

でも A さんの場合、それだけではありませんでした。後日、無料 Zoom 個別相談で 45 分ほどじっくりお話ししていく中で、あることが見えてきました。

「目標」はあった。でも「目的」がなかった

A さんには、英検 2 級合格という明確な「目標」がありました。でも、その先にある「そもそも、何のために英語を身につけたいのか？」という「目的」が、まだ十分に言葉になっていなかったのです。

ここで、目標と目的を一度整理しておきます。

目的：なぜ英語を学ぶのか。

英語を使って、最終的にどんな人生や経験を得たいのか。

目標：その目的に近づくために、いつまでに何を達成するのか。

例えば、

目的 「日本に来ている外国人観光客を英語で案内して、喜んでもらいたい」

そのための、

目標 「来年 6 月までに英検 2 級に合格する」という形です。

英検 2 級合格そのものが悪いわけではありません。むしろ、素晴らしい目標です。ただ、その先に、「英検 2 級を取った英語力を使って、私は何をしたいのか？」があると、合格後も次へ進みやすくなります。

目標は「通過点」にできる

資格試験は、英語学習との相性がとても良いと思います。理由の一つは、期限が明確だからです。試験日が決まっている。合格ラインもある。やるべきことも比較的分かりやすい。だから、行動しやすい。

でも、英検2級に合格すること自体が、英語人生の最終地点とは限りません。

その資格を取って、

誰と話したいのか。

どこへ行きたいのか。

何をしてみたいのか。

どういう自分になりたいのか。

ここまでであると、資格が、「ゴール」ではなく「通過点」になります。すると、英検2級に合格した後も、

「じゃあ次は、実際に話す練習を増やそう」

「外国人観光客の案内に挑戦してみよう」

「次の旅行では、自分から英語で話しかけてみよう」

と、次の行動が見えてきます。

カーナビと同じです

僕は、英語学習をカーナビによく例えます。カーナビを使う時、まず必要なのは、**現在地**ですよね。そして次に、**目的地**を入力します。

現在地だけ分かっているけど、目的地がなければ、ナビはルートを案内できません。英語も同じです。

例えば、現在地は、

「中学英語は何となく分かる」
「TOEIC は 500 点くらい」
「聞き取れるけど、とっさに話せない」

という状態。

そこから、

「2 年後、海外旅行で困らない程度に話せるようになりたい」
「外国人のお母さんたちと英語で雑談できるようになりたい」
「仕事で英語のプレゼンができるようになりたい」

など、目的地を決める。

そうすると初めて、

「じゃあ、何を学ぶ必要があるのか」

が見えてきます。

目的地が違えば、必要な教材も、勉強時間も、練習内容も違います。だから僕は、第 1 章で、「新しい教材を買う前に、一度立ち止まってほしい」とお伝えしました。

目的地が分からないまま教材を選ぶのは、行き先を決めずに、とりあえず高速道路に乗るようなものだからです。

「ペラペラになりたい」でも、最初がいい

ここまで読むと、「そんな立派な目的、私にはありません」と思う人もいるかもしれませんが、大丈夫です。

最初は、「英語が話せたらカッコいい」でもいいんです。「海外旅行でもっと話せたら楽しそう」でもいい。僕自身、英語に興味を持った最初のきっかけは、映画『トップガン』で

した。

トム・クルーズを見て、

「うわ、カッコいい！自分も英語を話せるようになりたい！！」

と思った。そんな始まりです。

最初は、それでいいんです。ただ、英語学習を続けながら、少しずつ、「じゃあ、自分は具体的に、英語を使って何をしたいんだろう？」と考えてほしい。

これが大切です。

英語学習には、必ず波がある

英語学習を続けていくと、順調な日ばかりではありません。楽しい日。やる気に満ちている日。「英語、伸びてる！」と実感できる日。そんな日もあります。

一方で、疲れている日。仕事が忙しい日。何となく気分が乗らない日。「全然伸びていないんじゃないか」と思う日もあります。

そして、しばらく続けていると、停滞期もやってきます。頑張っている。勉強時間も確保している。でも、以前ほど成長を感じない。すると、

「この勉強法、間違っているのかな」

「教材を変えた方がいいのかな」

「もっと勉強量を増やした方がいい？」

と、不安になります。ここで、第1章で話した「情報の胃もたれ」に戻りやすくなるんですね。

不安になる。

新しい情報を探す。

教材を増やす。

さらに迷う。

このループに入ります。

そんな時、自分の中に、「私は〇〇のために英語をやっている」という言葉があると、踏ん張りやすくなります。

挫折してもいい

ここで、僕は一つ伝えたいことがあります。挫折してもいいんです。英語を何日か休んでもいい。一度やる気がなくなってもいい。忙しくて1か月離れてしまうことだってあるかもしれません。

それでもいいと思っています。なぜなら、挫折できるということは、その前に挑戦したということだからです。

本当に大事なのは、また戻ってくることです。

僕は英語学習において、この「カムバックする力」はかなり大事だと思っています。そして、目的がある人は、戻ってきやすい。

「そうだった。私は外国人のお母さんたちと英語で話せるようになりたかったんだ」

「そうだった。定年後、夫婦で海外旅行を楽しみたかったんだ」

「そうだった。海外から来たお客さんを、自分の英語で案内したかったんだ」

そう思い出せば、「じゃあ、また今日から10分だけやろう」と戻ってこられる。

英語学習は、毎日100点を取るゲームではありません。長い時間をかけて、何度でも戻りながら前へ進んでいくものだと思っています。

あなたが英語を話している「一枚の写真」を想像する

もし、「目的がなかなか出てこない」という方がいたら、こんなことを考えてみてください

い。あなたが理想の英語を話せるようになった未来を、一枚の写真にするとしたら、どんな写真ですか？

どこにいますか？

誰といますか？

何を話していますか？

どんな表情をしていますか？

その時、どのくらい英語が話せていますか？

いつ頃、その状態になっていたいですか？

できれば頭の中だけで終わらせず、紙に書いてみてください。

例えば、2年後。

海外のカフェで、現地の友達と英語で笑いながら 30 分くらい話している。完璧な英語ではないけれど、自分の言いたいことはだいたい伝えられている。

これくらい具体的にになると、かなり変わります。

そこから逆算して、「今の自分には何が必要か」を考えられるからです。

目的は、途中で変わってもいい

そして、もう一つ大事なこと。一度決めた目的を、一生変えてはいけないわけではありません。変わっていいです。むしろ、人との出会いや経験によって変わるのは自然です。

最初は、「海外旅行で話したい」だった。

でも勉強しているうちに、「外国人に日本文化を英語で伝えたい」になった。

さらに、「英語を使った仕事をしてみたい」に変わった。全部 OK です。最初から 100 点の目的を作る必要はありません。仮でもいいから、今の自分なりの目的を言葉にする。

そして、英語を続けながら更新していく。それで十分です。

この章でやってほしいこと

ここでは、英語を勉強しなくても構いません。
10 分、20 分でもいいので、紙とペンを用意してください。

そして、次のことを書いてみてください。

現在地：今の自分の英語力はどのくらいか
目的：なぜ英語を話せるようになりたいのか
目標：そのために、いつまでに何を達成したいか
期限：まず最初の区切りをいつにするか
未来像：誰と、どこで、どんな英語を話してたいか

すぐに答えが出なくても大丈夫です。

2～3 日でもいい。数週間でもいい。英語を勉強しながら考えてもいい。
それくらい、ここには時間をかける価値があります。

目的地が決まれば、次は「荷物」です

あなたの現在地が分かった。目的地も見えてきた。目標と期限も少しずつ決まってきた。
そうすると、次にすべきことが見えてきます。

「その目的地まで行くために、何を持っていけばいいのか？」です。

ここで多くの英語学習者がやってしまうのが、

「念のためこれも」

「これも必要かも」

「あれも持って行った方が安心」

と、荷物を増やし続けることです。僕も、それで痛い目を見た経験があります。

次の章では、英語学習は、“足す”より“捨てる”。という話をします。長い道のりだからこそ、できるだけ身軽に進んでいきましょう。

第3章 英語学習は、“足す”より“捨てる”

英語学習は長期戦。だから、たくさん抱えるより、必要なものだけ持って身軽に進んだ方が続けやすい。

英語学習を始めると、ついつい色々なものを持ちたくなります。英語アプリ、本、YouTube、オンライン英会話、英会話フレーズ集。

「これも必要かもしれない」
「あれもやった方が良さそう」

と、気づけば荷物がどんどん増えていく。

でも、これから英語学習をしていく際、避けて通れないのが「継続」です。長い距離を歩き続けるのであれば、果たして荷物は多い方が良いのでしょうか？

ここで、僕の実体験を一つお話しします。

過去、お世話になっていた先輩に、「100km ウォーキング、参加しない？」と誘われました。僕にとっては初体験で、「100km 歩くのって、面白そう！」と感じ、参加することを決意したんですね。

当時、僕は20代後半～30代。身体の使い方を学ぶ講座を受講しており、そこに参加しているメンバー、計12名と100kmウォーキングに参加しました。

大会当日。100kmという長距離を歩くんだから、色々なものをリュックに入れておいた方が良さだろう。そう考え、水筒やバナナ一房、着替えの服など、とにかく色々なものをリュックに詰め込みました。

結構な量を背負って、大会はスタートしました。結果、僕たちのメンバー12人中、11人が完歩。そう。僕だけが唯一のリタイアでした。

もちろん、練習不足やメンタルなど、原因はいくつかあったと思います。でも、その中でも足を引っ張ったものの一つが、「荷物が多すぎた」ということでした。

最初の 20～30km は、朝ですし、足もそれほど疲れていないので、何とかカバーできるんですね。

でも、夕方から夜にかけて、疲労、眠気、空腹。これが一気に襲ってくる。そして、肩もだんだん重くなってくるんです。すると歩くペースも落ち、結果、約 60km 地点、夜中の 1 時半ごろにリタイアすることになりました。

この時、特に僕の中で、
「これ、要らなかったな……」
と思ったものがあります。

それが、バナナ一房です。たしか 6～8 本くらいついていたと思います。僕の中では、
「長距離歩くんだから、いつでもすぐに栄養補給できるように、リュックに入れておこう」という発想でした。

でも、実際に食べたのは 2～3 本。残りは、ずっとカバンの中に入れて持ち歩いただけでした。そうなんです。良かれと思って入れていたものが、逆に足枷になっていたんです。

ここで今回の「足すより捨てる」という話に戻ります。英語学習も同じで、必要最低限以上のものを抱えてしまうと、前に進むスピードが落ちます。

アプリをたくさん入れている。
英語本をたくさん買っている。
気になる動画を大量に保存している。

「あれもやらなきゃ」
「これもやらなきゃ」

となっている。

良かれと思って増やしたものが、知らないうちに自分の足を引っ張っていることもあるんですね。

もし、ここまで読んで、「使っていない英語アプリがある」「英語本をたくさん買ったけど、ほとんど読んでいない」「ショート動画や YouTube 動画を観る習慣はあるけど、あまり残っている感じがしない」という方は、ここで一旦立ち止まってみてください。

そして、

「しないこと」

「捨てること」

を考えてみてほしいんです。

足すのはラクなんですが、捨てるのは意外と難しかったりします。自分が持っていないものを見ると、他の本や英語コンテンツがとても良く見えてしまいますよね。でも、気づけば「英語学習者」ではなく、

「英語教材コレクター」

になっている可能性もあります。

僕たちに必要なのは、いかに必要最低限の荷物で、長い距離を歩き続けるか。です。もちろん、英語を学ぶ目的や目標は人それぞれなので、「本は何冊まで」「この教材だけ」と一概には言えません。

大切なのは、今の自分が、身軽な状態で歩き続けられる量かどうか。ということです。

何を足すかを考える前に、何を捨てるか。

今のあなたのリュックの中に、「これ、もう持たなくてもいいかも」と思うものはありますか？一度、リュックを下ろして、中身を見直してみてください。

100km を歩き続けるためには、たくさん持っていることよりも、必要なものだけを持っていくことの方が大切です。英語学習も、きっと同じだと思います。

第4章 スマホ使用中は、“天使と悪魔”を見極めよ

スマホそのものが悪いのではない。英語学習を助ける使い方と、注意を奪う使い方を自分で見極めることが大切。

英語学習をする際、手放せないアイテムの1つにスマホがありますよね。僕も毎日使っていますし、知らない単語や、調べたい発音などがあると、すぐにスマホを使います。

ただ、今回の章で一番お伝えしたいのは、

「スマホには天使と悪魔、2つの顔がある。いつ、什么时候、天使の顔から悪魔の顔に変わるか分からないから注意しよう」

ということです。

例えば、英語学習をしている時。英単語の意味を調べたくなり、スマホを手に取ります。

「ふむふむ、obsolete はこういう意味なのか。勉強になるな」

この時は、特に問題ないんです。スマホは完全に「天使の顔」をしています。しかし、途中でスマホの画面に英語学習とは関係のない広告が出てきたり、LINE の通知が入ったり、

「〇〇さんがライブをスタートしました！」

と SNS から通知が入る。

実はもうここで、天使の顔から悪魔の顔へ変わる予兆が出ているんですね。この時点で気が散ってしまう方もいるでしょう。もちろん、「今は英語の時間だから」と無視して、そのまま勉強を続けられる方もいると思います。

でも、これが2回、3回と続いたら……？

だんだん集中しにくくなってきませんか？ということは、スマホの「悪魔の顔」が、少しずつあなたの意識を英語から遠ざけ始めているんです。

さらに、英語学習を 30 分間、しっかり集中してできたとします。この間はスマホもずっと天使の顔。順調です。

でも、次のステップが大きな罠になり得ます。それが、「休憩」です。

「ちょっとだけ。5 分だけ SNS 見ようっと」

そんなつもりで見始めたのに、気づけば 15 分。あっという間です。人によっては、そのまま 30 分くらい SNS のチェックや返信に時間を使ってしまうこともあるでしょう。そして、「休憩のつもりだったのに、全然休憩できてないやん」となる。

英語学習から一度頭を離して休憩するのであれば、トイレに行く、目を閉じる、少し横になる、その場から離れて身体を動かす。そんな時間を作るのも良いと思います。

SNS を見始めると、また次々と新しい情報が入ってきますから、少なくとも英語学習から頭を離す休憩にはなりにくいんですね。

このように、スマホはいつでも天使の顔から悪魔の顔へ変わります。しかも、一瞬で。気づかないうちに。かといって、僕は、「スマホ＝ダメ」と言うつもりはありません。

使う本人が自覚して、スマホとの付き合い方や距離感を適切に保つことができれば、スマホに使われるのではなく、“あなたが”スマホを使うことができると思っています。

少し面倒かもしれません。

でも、せめて英語学習をしている間だけでも、

通知を切る。

SNS を見ない。

LINE も後回し。

英語学習に必要な目的以外では、なるべくスマホを触らない。このくらいの境界線は引いておいた方が良いでしょう。もちろん、スマホを使わずに英語学習ができるのであれば、それでも構いません。

紙の辞書、電子辞書、タブレット、PC。色々な選択肢があります。

ただ、スピード、時短、検索の速さを考えると、やっぱりスマホは便利なんですよ。だから、スマホを捨てる必要はありません。

大切なのは、「**今、自分は何のためにスマホを触っているのか？**」を自分で分かっていることです。

英語を調べるためなのか。

SNS を見るためなのか。

LINE を返すためなのか。

ここが曖昧になると、スマホはついつい長く使ってしまいやすいです。英語学習そのものも大切ですが、その流れを一瞬で変えてしまうのもスマホです。

だからこそ、「今のスマホは、天使の顔をしているのか？それとも悪魔の顔をしているのか？」時々、自分に問いかけてみてください

。

スマホを敵にする必要はありません。

上手く付き合えば、英語学習にとって非常に便利な「天使」になってくれます。ただ、悪魔の顔に変わった瞬間だけは、見逃さないようにしてくださいね。

第5章 たくさん学ぶより、“1つを深く”

英語は、たくさんやれば身につくわけではない。1つを何度も繰り返し、深く理解して、自分で使える状態まで持っていくことが大切。

「英語がペラペラになるためには、色々なことをたくさんやらないと！」このように思われている方は多いと思います。少なくとも、僕が本格的に英語学習を始めた時は、そのように思っていました。

ですが、私たち、特に40代、50代の方にとっては、学生時代と違い、色々な制約があります。

家族のこと、家庭のこと、育児、親の介護、仕事など。

この中で、これから英語を身につけようとされています。ということは、学生時代のように幅広く、たくさんを同時にやるよりも、1つのことを狭く、深くやる方が、あなたの中に残りやすいと僕は考えています。

例えば英文法。

日本人が苦手と感じやすい文法の1つに「現在完了形」があります。これを1日で終わらせるのではなく、3日、5日、場合によっては1週間くらいかけて、じっくり深掘りしていくんです。

例文を何度も読んだり、「こういう時に使うのか」と考えたり、自分でも実際に使ってみたりする。一見すると、かなり進みが遅いです。確かに遅いです。

でも、その分、「現在完了形ってこういうことか」という理解が深まり、少しずつ自分でも使える感覚が出てきます。おそらく何人かの方は、ショート動画で何となく英語に触れ、何となくリスニングをし、何となく文法をされているかもしれません。

もちろん、それが悪いわけではありません。何もしないよりも良いですし、実際に行動に移していること自体、とても大切です。

ただ、今回お伝えしたいのは、

「狭く、深く、1つのことに集中する」

という学び方も取り入れてほしい、ということなんです。英語全体の範囲で見れば、進んでいる量は少ないかもしれませんが。でも、その分、「現在完了形」という1つのテーマに対する理解度は確実に深まります。

そして、もう1つ良いことがあります。

それは、1つを深く掘った経験が、次の学習にもつながるということです。例えば今回、「現在完了形」をいつもより深く勉強したとします。

すると、「なるほど。これくらい時間をかけて、こういうふうに繰り返せば、自分はこれくらい理解できるんだ」という感覚がつかめます。

ということは、あとはそのやり方を横展開していけばいいんです。

五文型でも良い。

未来形でも良い。

助動詞 will でも良い。

1つを深くやる経験を積むことで、

「このくらい繰り返せば、自分の中に残る」

「このくらい使えば、少しずつ口から出てくる」

という、自分なりの学び方が分かってきます。なので、もしここまで読んでいただいたら、これからたった1つだけ選んでみてください。

今回は例として「現在完了形」を出しましたが、もちろん他でも構いません。発音のLとRでも良いです。リスニングのお題1つでも良い。英会話フレーズ1つだけでも構いません。

「狭いけど、深い」

これをキーワードにして取り組んでみてください。

すると、

「これが、英語を話せるようになるための1つのピースなのか」

「このピースを少しずつ増やして、つなぎ合わせていけば、自分も話せるトピックが増えていくのか」

と感じられる瞬間が出てくると思います。

大事なので、最後にもう一度だけ言います。

たくさんやるより、1つを「狭く、深く」する。

まずは今日、1つだけ選んでみてください。

第6章 丸暗記で終わるな！フレーズから文法へ広げよう

英会話フレーズは、覚えて終わりではもったいない。1つのフレーズから文法や言い回しを理解して、自分の言葉に変えていくことが大切。

英語を話せるようになる近道の1つ。それが、「英会話フレーズの丸暗記」です。何故なら、自分が言いたいこと、相手に伝えたいことをそのまま覚えておけば、後は必要な場面でそのフレーズを実際に使えば、相手に伝わるからです。

「じゃあ、これからは、自分が言いたいフレーズを丸暗記すれば良いだけなのね」

と、思われる方もいらっしゃるかもしれません。

ですが、ここでデメリットを1つお伝えします。

それは、「丸暗記した英会話フレーズ以外、喋れない」と言うことです。

どれだけ事前に自分の言いたい英会話フレーズを丸暗記したとしても、私たちの会話は全て準備したように物事は進みません。そして、いくら英会話フレーズを丸暗記していたとしても、会話の流れによっては、丸暗記したフレーズ以外の言葉も言いたくなる時もあるのです。

と言うことは、その時に「瞬間英作文」が出来れば良いのですが、文法のルール、特に英語の語順や日常会話で頻出する文法を知らなければ、自分でとっさに言いたい事を頭の中で組み立てられないのです。

では、どうすれば良いのでしょうか？

それは、「丸暗記フレーズから、文法へ広げる方法」です。

例えば、英語で「私は東京駅に行きたいです」と言うフレーズ、I would like to go to Tokyo station.というフレーズがあります。今までであれば、このフレーズを丸暗記し、そのまま使えば大丈夫でした。

ですが、今回は、「**A + B 勉強法**」と言うのを採用します。

まずこのAの意味ですが、今回の文法である、「～したいです」自分の要望を相手に丁寧に伝えたいときに使える文法になります。丁寧な希望や意向を相手に伝えることができます。

I would like to～ですね。この部分をAとします。

次にあなたにして欲しいのが、Bのパターンを増やすことです。

例えば、日常会話であなたが丁寧に自分のしたいことを相手に伝えたいとき、どんな内容が出てくるでしょうか？

例えば、

- ・これを返品したいのですが。

I would like to return this.

- ・あちらの席に移動したいのですが。

I would like to move to that seat over there.

- ・注文したいのですが。

I would like to order.

さてどうでしょう？今回のように「～したいのですが」のパターンを予め先に覚えて起き、作成しておきます。

すると、適切な場面で、今回のフレーズがとっさに出てきやすくなるんですね。

ポイントは、今回のフレーズは、「いつ、どこで、誰に、どんな気持ちで言うのか？」これらを1つ1つ具体的にイメージ出来れば、短時間でこれだけのフレーズをマスターすることができます。

後は、I would like to～、この時、to以降は動詞の原形が来る、ということを覚えておけば、あなたが現在知っている単語の量と同じ位、文章が瞬時に作れるという訳です。

今回は予め、8つの文章を事前に作っておきました。

この作業もとても大事です。

そして、後日、実際にネイティブと英会話する機会が出来ました。

今回、準備した8つ以外のフレーズを言いたい時に、今回のI would like to～の意味と語順、単語を理解していれば、その場で瞬時に言いたいことが言える可能性がグン！と高くなるんですね。

いわゆる、「コロケーション」です。

例えば、

休憩する

take a break

写真を撮る

take a picture

シャワーを浴びる

take a shower

コロケーションとは、英語で「自然によく一緒に使われる単語の組み合わせ」のことです。

例えば上記の組み合わせが、よく日常会話で使われます。で、これを先に覚えておけば、実はもう1つ良い事があるのです。

それは、時短に繋がるのです。

どういうことかと言うと、今回の場合、I would like to + 動詞の原形、これで「相手の人に丁寧に～したいのですが」を伝えることが出来ます。

更に、他の文法、例えば、I need to + 動詞の原形を覚えれば、「～する必要があります」と言う意味で、相手の人に伝えることが出来るようになるんですね。

例えば、今回のコロケーションを使って I need to + 動詞の原形にしてみると、

・写真を撮る必要があります。

I need to take a picture.

・休憩する必要があります。

I need to take a break.

・シャワーを浴びる必要があります。

I need to take a shower.

全ての文章が自然かどうかは一旦横におきますが、こうやって色々な表現へと展開出来るようになります。これ、凄くないですか？

更に、ここから否定文、疑問文へも展開できます。

- 写真を撮る必要があります。

I need to take a picture.

写真を撮る必要はありません。

I don't need to take a picture.

写真を撮る必要がありますか？

Do I need to take a picture?

- 休憩する必要があります。

I need to take a break.

休憩する必要はありません。

I don't need to take a break.

休憩する必要がありますか？

Do I need to take a break?

- シャワーを浴びる必要があります。

I need to take a shower.

シャワーを浴びる必要はありません。

I don't need to take a shower.

シャワーを浴びる必要がありますか？

Do I need to take a shower?

型としては、

肯定文：I need to + 動詞

否定文：I don't need to + 動詞

疑問文：Do I need to + 動詞？

ここまで展開できます。これを行けば、かなりの日常会話の範囲をカバーでき、そのスピードも、1つ1つフレーズを丸暗記するよりかは早くなります。

もちろんここから主語を三人称単数形に変えたり、5 W 1 Hの疑問文への展開も可能です。ただ、今回は主語全て I にしたいですし、そちらの方が優先度が高いです。なので、

ここから先の展開は割愛しますね。

さて、いかがでしたでしょうか。

「1つのフレーズを丸暗記する」と言うことも大事ですが、1つのフレーズからここまで展開することが出来るんですね。これを今後、実践して頂くと、自分が言いたいフレーズのみならず、

- ・ 文法
- ・ コロケーション
- ・ 肯定文、否定文、疑問文

この3つまで展開することが可能です。

「1を見て、1だけを覚える」のではなく、「1を見て、10まで展開させる」この発想を覚えておいて下さい。

これから、たくさんの英会話フレーズに出会うと思います。

その時に、ただ丸暗記して終わるのではなく、「これ、私だったらどう使うだろう？」と、一度考えてみてください。

文法を確認して、自分の言いたい内容に置き換えてみる。肯定文だけではなく、否定文や疑問文にもしてみる。

「1を見て、1だけ覚える」のではなく、
「1を見て、10まで展開させる」。

この発想を持っているだけで、英会話フレーズは単なる丸暗記ではなく、自分の言葉を増やすための材料に変わっていきます。

第7章 AIが答えてくれる時代でも、最後に問われるのは「あなたは思う？」

AIが「英語でどう言うか」を教えてくれる時代だからこそ、僕たちは「自分は何を言いたいか？どう思うのか？」を、自分で考える必要がある。

今回のお話は、英語だけではなく、日本語でも今後問われるスキルだと考えています。なので、とても重要な章になります。そして、この第7章で本書は終わりです。

AIの登場で、英語を調べたり、理解したりするスピードは、今までと比べ物にならないくらいに速くなりました。これはとても喜ばしいことです。

「〇〇を英語で何という？」

「現在完了形って何？」

「リスニング力を上げるにはどうすれば良いの？」

このような質問を、24時間365日、ネットがつながる環境であれば、いつでもどこでも答えてくれる存在になっています。今となっては、一人一台、スマホを持っているのが当たり前になりましたね。

そしてこれからの時代、一人1つは何かしらAIを使っている時代が来ても、全くおかしい話ではないと考えています。というか、もうすでに多くの方はAIの存在を知っていますし、日に日にAIを使う方は増えてきているのではないのでしょうか。

そして今回、僕がここで一番お伝えしたいこと。

それは、

日本語でも英語でも、「あなたは思うのか？」

これに回答できる人になっていく必要がある、ということです。

今回は英語がメインですので、そちらを中心にお話していきますね。

実は過去、X の投稿を何気なく見ていると、ある動画が目につきました。その内容は、

「いくら英語の発音が良かったとしても、内容が薄ければ、話を聞いてもらえない」

という発言でした。

僕はこの瞬間、「確かに」と感じました。

発音があまりにも不明瞭であれば、自分の言いたいことが相手に伝わらないことがあります。どれだけ英文が読めても、リスニングが聞き取れたとしても、自分の言いたいことを英語で言った時、発音がめちゃくちゃであれば、相手に伝わりにくくなりますよね。

なので、僕の結論としては、ネイティブレベルの発音でなくても、相手にとってストレスなく、クリアな音であれば、多少の訛りはあったとしても、伝われば良いと考えています。

そして次の課題です。

AI の登場によって、自分の言いたいことを瞬時に英語表現に変えたり、質問に対する答えをすぐに調べたりできるようになりました。

では、次に大切なのは何か？

それは、

「〇〇について、あなたはどのように思いますか？」

「A と B、どちらが良いですか？それはなぜですか？」

などの、正しい答えがない問いに回答することなんですね。

これは僕がオーストラリア留学をしていた時のお話になりますが、最初の約1年間、語学学校に通っていたんですね。で、半年くらい経った頃から、ある質問を嫌というほど聞くようになりました。

それが、

Why? (なぜ?)

なんです。

何かにつけても、Why?と聞かれるし、最終的には、

「何で、そんなに Why Why 聞いてくるの? そんなの聞かなくても良いじゃん!」

と、ちょっと怒ってしまうくらい、嫌になりました。

でも、当時を振り返ると、今になってこの Why? が重要なんだな、って気づけたんですね。この理由や考えが、先ほどのお話、

「どれだけ英語の発音がきれいでも、中身が薄ければ、話を聞いてもらえない」

につながるのです。

これは極端な例かもしれませんが、誰にでも時間は限られています。そう、時間は有限ですよ。で、いくらあなたの英語の発音がきれいで、スラスラ話せたとしても、話の中身がなければ、会話が長く続かないこともあります。

日本人同士で考えると分かりやすいと思います。

目の前に Aさんと Bさんがいます。どちらも日本語ペラペラです。

この時、Aさんはあなたが知りたい情報、例えば、

「毎日ある体操を 10 分続けるだけで、1 週間後にはマイナス 10 歳肌になれる方法」

を知っています。それに対し Bさんは、特にあなたの欲しい情報を持っていません。

どちらとお話したいですか？

ということなんです。

確かに冷たく聞こえるかもしれませんが、私たちの時間は有限です。誰とでも、ずっと話をするというわけにはいきません。ということは、相手にとってあなたの中に、

「聞きたい」

「話が面白い」

「今まで聞いたことのない考えを持っている」

「自分がしたことのない経験をしている」

というものがあれば、その方とお話したり、質問したり、考えを聞いたりしたいですよ
ね。

そういうことなのです。

かといって、最初からそんなことを英語で話せるようになりなさいとか、自分がどう考えているのかを英語で言えるようになりなさい、ということは言いません。

では、どうすれば良いのか。

まずは、日本語で言えるようになる。そこから OK です。

例えば、

「夏と冬、どちらが好きですか？それは、なぜですか？」

これだけ。英検のライティングやスピーキングのテストに出てきそうな問いですが、このようなシンプルなところから良いのです。

まずは、その習慣を身につける。

で、回答としては、

「私は夏が好きです。なぜなら花火が大好きで、日本全国、色々なところで、夏の風物詩と言える花火を、大好きなかき氷を食べながら満喫できるからです。花火を生で見た時、あの打ち上がって花のように咲く、そして、お腹に『ズシーン！』と響く重低音。あれが、たまらなく好きなのです」

このように、まずは日本語で言えるようにしてください。

そしてできれば、これをそのまま英語で言えると良いですが、まずは日本語で OK です。で、この回答をそのまま英語で言おうとすると難しいので、あなたのレベルに合わせて、カンタンに、短くしても構いません。

まずは、このような問いを普段から持ち、自分の回答、考え、意見を持っておく。
正解・不正解は不要です。むしろ、そんなものではありません。

相手は、

「あなたは、どう思いますか？」

という部分に興味を持ってくれます。ということは、この問いと回答を繰り返していくことで、少しずつ「中身のあるお話」ができるようになっていくのです。

今回のお話が、冒頭に書いた、

「いくら英語の発音が良かったとしても、内容が薄ければ、話を聞いてもらえない」

につながっていくのです。

もちろん、現時点で、ちょっとレベルの高いお話をしているのは承知しています。

でも、これからの時代は、今回お話したことがさらに重要になってくると僕は考えています。AIによって、すぐに「答え」を出せるようになってきているからこそ、

「で、あなた自身はどう思うの？」

という部分が、より目立つようになってきました。

少なくとも僕自身は、学生時代、「議論をする」「自分の考えを言う」ということを、それほど多く練習してきた記憶がありません。

でも今後は、日本語でも英語でも、「あなたの考え」「思い」「意見」に価値が出てくると、僕は考えています。せっかく英語を学んでいるわけですから、お互いにとって有意義な時間を過ごしたいですね。

であれば、もちろんこちら側の英語は流暢でないにしても、自分の意見や考えがすでに日本語で表現できているのであれば、たとえ発音がネイティブレベルでなくても、相手の方はあなたの話に耳を傾けてくれるかもしれません。

再度お伝えしますが、まずはカンタンなことから良いです。

- ・なぜ、私は〇〇が好きなんだろう？
- ・なぜ、私は××が嫌いなんだろう？
- ・夏と冬、どちらが好き？なぜ？理由は？
- ・etc...

もちろん、考えるので、頭は使います。

でも、この小さな繰り返しが、今後の英会話の時間を充実させてくれる支えになります。

ぜひ、普段から、

「自分は何を言いたいのか？」

「自分は思うのか？」

を、自分で考えるくせを付けていただければと思います。

おわりに

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今回、この冊子では第1章から第7章までありましたが、僕がこの全体を通して伝えたかったことは、

「一度立ち止まって、整理をしましょう」

ということだったんですね。多くの方は、何でもかんでも情報を「足す」方向に意識が行きがちです。それは悪いことではありません。

ですが、SNS、特にスマホを通して、無限に英語コンテンツが流れ込んでくるため、気づけば次から次へと見続けてしまいやすい状況になっています。

そんな時に、一旦この冊子を手にとって読んでいただき、整理をしてほしかったのです。

必要なモノを、必要な分だけ。

「浅く、広く」も良いけど、「狭く、深く」のスタンスで学ぶ。そうすると、あなたの中に学んだ英語は残りやすくなります。

そして、「言いたいことを英語で言えること」も大事ですが、

「なぜ、そう思うのか？」

など、自分の意見や考えを持つこともお伝えしてきました。

なので、今回のように、一度立ち止まって整理をする。すると、次の行動がクリアになり、1歩前に踏み出しやすくなります。

「それでも多過ぎて分かりません」

という方もいらっしゃると思うので、そんな方は、こんな感じでしょうか。

今日、この本を閉じた後に、一度だけ考えてみてください。

「僕は、私は、何のために英語を話せるようになりたいんだろう？」

実は、ここのコア（=核）の部分が決まってくると、何をどれくらいすれば良いのか、これからの具体的な行動や必要なモノ、コンテンツも決まりやすくなります。

もちろん、それ以外でも、「これならできそう」というモノを、今回の本の中から1つ選んで取り組んでもらっても構いません。

でも、「どれが良いか分からない」となったら、まずはこちらにしてください。

「僕は、私は、何のために英語を話せるようになりたいんだろう？」

すると、今後のあなたの英語学習の仕方や方向性、学び方も変わってきますので、ぜひ取り組んでいただければと思います。今回の本が、これからのあなたの英語学習にとって、一つのターニングポイントとなれば嬉しいです。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

英語習得への道のりは長いので、1日でも楽しく英語を学んで、英語を話せる楽しさ、分かる喜びを少しずつ増やしていただいくださいね。応援しています。

英会話講師 パンサー戸川

著者プロフィール

パンサー戸川（戸川晃雄）1984 年生まれ。

英会話講師。2005 年～2008 年まで、オーストラリアに約 3 年半留学。帰国後も英語学習を続け、TOEIC915 点、英検準 1 級を取得。

2020 年には TJ MOOK より英語学習に関する書籍を出版。

現在は、40 代・50 代・60 代を中心とした「大人の英語学び直し」をサポート。英会話だけでなく、発音、音読、英語日記など、一人ひとりの目的や英語レベルに合わせた指導を行っている。

自身も現在進行形の英語学習者として学び続けながら、AI 時代における英語学習についても日々実践・検証している。英語学習で大切にしているのは、教材や情報を増やし続けることではなく、

「一度立ち止まり、自分の現在地と目的地を整理し、自分に必要な英語を深く積み重ねていくこと」

X、Voicy、ブログ、note などでは「パンサー戸川」として、日常で使える英会話フレーズや、大人の英語学習について発信。Voicy では「パンサー戸川の 3 秒英会話」を配信している。

英語学習を通して大切にしているのは、単に英語力を上げることだけではありません。

「英語業界を、コンプレックス産業からコンフィデンス産業へ変える。」

そんな思いを持ちながら、英語を通して「私にもできる」と思える人を一人でも増やしたいと考えている。

もう少し、自分の英語学習を整理したい方へ

ここまで読んでくださり、ありがとうございました。

この小冊子を読んで、

「自分の英語学習を一度整理してみよう」

「教材を少し減らしてみよう」

「英語を学ぶ目的を、もう一度考えてみよう」

そんな気持ちになっていただけたのであれば、とても嬉しいです。

一方で、

「考え方は分かった。でも、“私の場合”は何から始めればいいのか？」

と感じている方もいらっしゃるかもしれません。

英語学習は、人によって現在地も目的地も違います。使える時間も違えば、これまで学んできた内容も、英語を話せるようになりたい理由も違います。

だから僕は、全員に同じ英語勉強法をおすすめすることはしていません。

まず、

今どのあたりにいるのか。

どこへ行きたいのか。

そのために、今何が必要なのか。

逆に、何を一度手放してもいいのか。

そこを一緒に整理することから始めています。

無料 Zoom 個別相談

現在 45 分間の無料 Zoom 個別相談を行っています。

この時間では、

現在の英語レベル・学習状況

これまで取り組んできた英語学習

英語を話せるようになって、どうなりたいのか

今後の目的・目標

今の自分に必要な学習と、減らしてもいい学習

これからの具体的な進め方

などを、一緒に整理していきます。

何かの商品を無理にすすめる場ではありません。

まずは、

「今の自分の英語学習を、一度スッキリ整理する時間」

として使っていただければと思います。

一人で考えていて、「結局、何をすればいいのか分からなくなってきた」という方は、
気軽にご相談ください。

▶ 無料 Zoom 個別相談のお申し込みはこちら

<https://togawaakio.com/free-zoom-consultation/>

普段の発信はこちら

英語学習について、X・Voicy・ブログなどでも発信しています。

日々の英語学習のヒントや、3秒英会話フレーズ、大人の英語学び直し、AI時代の英語学習についても発信しています。

X | パンサー戸川 | 3秒英会話

<https://x.com/akiotogawa8888>

Voicy | パンサー戸川「3秒英会話」

<https://voicy.jp/channel/1450>

公式ブログ | パンサー戸川の英語学習ブログ

<https://togawaakio.com/>

最後まで読んでくださり、本当にありがとうございました。

この小冊子が、あなたの英語学習を少しでも整理し、
これから進む方向を明るくするきっかけになれば嬉しいです。

パンサー戸川